

2025 年度 宝塚大学 看護学部

一般選抜 第 2 期

(2025 年 3 月 2 日実施)

学科試験：国語

出題の意図

第一問

- 問1 【漢字】文脈に即した漢字を類推できる能力と、語彙力があるかどうかを評価した。
出題された漢字はどれも同音の漢字が複数あるものであり、語句・漢字の意味や、語句の文中での使われ方を理解していれば正誤を判断できる。語句・漢字についての正確な知識は文章読解のため欠くべからざるものであるため、出題した。
- 問2 【文脈】文脈を把握したうえで、接続語を適切に使用できる能力があるかどうかを評価した。文と文のつながりを把握できていれば正誤を判断できる。文章を読みとり、正しく把握しているかを判断するため、出題した。
- 問3 【語句】文章の正確な読解には欠かせない、語彙力が身に付いているかどうかを評価した。出題した語句は、どちらも論説的な文章では珍しくないものであるため、出題した。
- 問4 【内容】文章中の抽象的な語句が意味する内容を正確に読解できる能力があるかどうかを評価した。指示語が指す内容を把握し、それまでに述べられた説明や具体例を踏まえていれば、正誤判断できる問題である。抽象的な内容を理解する能力は、論理的思考に必要なものであるため、出題した。
- 問5 【文脈】文章の内容を読解し、文脈を把握できる能力があるかどうかを評価した。本文では、「無常観」「無常感」というよく似た語句が用いられている。それぞれについて筆者がどのように説明しているかを読解できていれば正誤を判断できる問題である。
- 問6 【内容】筆者が引用した例をふまえて、文章中で述べられている内容を読解できる能力があるかどうかを評価した。論説文においては、筆者の主張を強化するために、しばしば引用が用いられる。引用文の内容を踏まえて筆者の主張を理解できるかを判断するため、出題した。
- 問7 【内容】文章中で述べられている内容を読解できる能力があるかどうかを評価した。指示語が指す内容を把握するとともに、引用文の内容を本文の主張と紐づけて読解できるかを判断するため、出題した。
- 問8 【内容】本文の要旨を読み取る能力があるかどうかを評価した。本文全体の文脈と内容を読み取れていれば正誤が判断できる問題である。文章の要点をつかむ能力があるかどうかを判断するため、出題した。

第二問

第二問は、漢字・語句等の知識を問う設問群である。これらの設問で出題した知識は、いずれも国語の能力として基礎となるものであり、高校までの学習や、言葉・文章に親しむ意欲が十分であれば身に付いているはずである。同時に、一般常識としての面もあるため、出題した。

- 問1 【漢字】 文脈に即した漢字を書けるかどうかを評価した。
- 問2 【漢字】 部首についての知識が身に付いているかどうかを評価した。
- 問3 【語彙】 ことわざの意味と使い方を理解しているかどうかを評価した。
- 問4 【熟語】 熟語の読みについての知識が身に付いているかどうかを評価した。
- 問5 【語彙】 四字熟語の意味を理解しているかどうかを評価した。
- 問6 【文法】 国語の文法的知識が身に付いているかどうかを評価した。
- 問7 【漢字】 同訓異字を正確に理解しているかどうかを評価した。
- 問8 【語彙】 ことわざの意味を理解しているかどうかを評価した。
- 問9 【知識】 俳句の季語を理解しているかどうかを評価した。
- 問10 【知識】 著名な古典作品についての、文学史的知識があるかどうかを評価した。

第三問

- 問1 【漢字】文脈に即した漢字を類推できる能力と、語彙力があるかどうかを評価した。
第一問の問1と同形式の問題であるが、語句・漢字についての知識は文章読解のために必要不可欠である。そのため、語句・漢字についての知識が十分であることを判断するべく、出題した。
- 問2 【文脈】文脈を把握したうえで、語句を適切に補充できる能力があるかどうかを評価した。文脈を把握できていれば正誤を判断できる問題である。文脈把握能力を判断するため、出題した。
- 問3 【語句】文章の正確な読解には欠かせない、語彙力が身に付いているかどうかを評価した。第一問の問3と同形式の問題であるが、語彙の多寡は文章読解の精度に直接影響する。そのため、語彙力が十分身に付いているかどうかを判断するべく、出題した。
- 問4 【内容】文章中の抽象的な語句が意味する内容を正確に読解し、具体的な内容に展開できる能力があるかどうかを評価した。それまでに述べられた説明や具体例を踏まえていれば、正誤判断できる問題である。抽象的な内容を理解する能力は、論理的思考に必要なものであるため、出題した。
- 問5 【内容】文章中で述べられている内容を読解できる能力があるかどうかを評価した。それまでに述べられた内容を読解できていれば正誤を判断できる問題である。読解能力の基礎が身に付いているかどうかを判断するため、出題した。
- 問6 【内容】文章の内容を正確に読解したうえで、共通点を見つける能力があるかどうかを評価した。引用文の内容を本文の主張と紐づけて読解できるかを判断するため、出題した。
- 問7 【内容】筆者の意図・主張を読解できる能力があるかどうかを評価した。論説文においては、筆者の主張をとらえることが重要である。主張をとらえる能力は、文章読解において基本の能力であるため、出題した。
- 問8 【文脈】文脈を把握したうえで、指定された文を本文中のどこに補うのが適切かを判断できるかどうかを評価した。文と文のつながりや、文章構成を意識して読解できていれば、どの箇所に文脈上の不足があるか判断できる問題である。文脈をとらえる能力があるかどうかを判断するため、出題した。
- 問9 【構成】論説文の論の展開のしかたをとらえ、文章の特徴を理解する能力があるかどうかを評価した。文章の構造を意識しながら読むことができているかどうかを判断するため、出題した。